

キャンプ座間に関する協議会第24回幹事会
(ま と め)

1 日 時 令和7年3月25日(火) 10:00～10:30

2 場 所 座間市役所 3階庁議室

3 出席者

(1) 南関東防衛局

秋吉企画部長、北管理部長、増田企画部地方調整課長(欠席)

(2) 座間市

北川副市長、内藤市議会副議長、内藤市基地返還等市民連絡協議会副会長、
安藤財務部長

(3) 神奈川県

三森基地対策部長(欠席)

4 会議の概要

(1) 在日米軍との協力関係構築のための取組について

① 日米交流事業

南関東防衛局から、「昨年3月にキャンプ座間で実施した日米交流事業では、日米の子どもたちが各種ゲームを通じ、言語の壁を超えて交流を深めた。」
「交流事業に参加する児童の募集や、イベント当日の参加者の案内など積極的に御協力いただき、御礼申し上げます。」「今後とも、米軍と周辺住民の方々との信頼関係を醸成できるよう対応してまいりたい。」との発言があり、これに対して、座間市から「キャンプ座間との相互理解を深めるためにも、引き続き、交流事業を実施していただきたい。」との発言があった。

また、座間市から当該事業以外の基地との日米交流について紹介があった。

(2) 負担軽減等のための取組について

① 防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律に基づく施策

南関東防衛局から、「令和7年度から、民生安定助成事業のうち、コミュニティ供用施設や公民館、体育館など建物の整備の補助は、定額補助から、定率補助に改正される。」との説明があり、これに対して、座間市から「制度改正により補助率の向上に御尽力いただき、御礼申し上げます。本市でも本制度の活用をさせていただいており、助かっている。」との発言があった。

また、座間市から「民生安定助成事業における学校等教育施設の補助対象拡充など、引き続き市民が負担軽減を実感できるような積極的な対応をお願いしたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「今年度からは、15項目の消防車両等を補助対象に追加するなど、これまでも地元の御要望に沿えるよう施策の拡充について検討を続けている。今後とも、しっか

りとコミュニケーションをとらせていただき、地元のご要望に応えられるよう努力してまいりたい。」との発言があった。

(3) 運用の態様の変更等について

① 陸上自衛隊第4施設群の改編等

南関東防衛局から「陸上自衛隊第4施設群の改編等については、全国的に進めてきた戦車部隊の廃止・集約に伴う機動支援機能の集約に伴い、今年24日付で第4施設群は部隊改編され、現在2個中隊あるところ、1個中隊に縮小される。これに伴い、座間駐屯地の定員は約480人から約430人になった。今後とも、地元との密接な関係に配慮してまいりたい。」との説明があり、これに対して、座間市から「座間駐屯地に駐屯している陸上自衛隊第4施設群の皆様には、日頃から本市の様々な事業への協力などいただき感謝している。また、災害発生の際に住民の生命・財産を守るために活動されるものと大いに期待している。今後とも地元との良好な関係性を継続させていただければと思っている。」との発言があった。

② 在日米陸軍の部隊編成等

南関東防衛局から「昨年キャンプ座間に所在する在日米陸軍の「第一軍団（前方）」について、米本土にある「第一軍団」と直接的な関係性がないため、「太平洋陸軍（前方）」と呼称することになった。これは再編ではないため、部隊、任務、人員、装備品に変更はなく、キャンプ座間周辺に影響がないことを米側から確認している。」との説明があり、これに対して、座間市から「現在、ハワイにある太平洋陸軍との関係性はあるか。また、軍の再編ではないとのことだが、双方に何らかの関係がある場合、単に呼称を変えた以外の変更が生じていると思うが、変化はあるのか。」との発言があり、これに対して南関東防衛局から「太平洋陸軍司令部の指揮下に在日米陸軍司令部があり、在日米陸軍司令部の指揮下に太平洋陸軍司令部（前方）がある。」「太平洋陸軍（前方）へ呼称変更しただけであり、現時点において特段の変更がないことを米側から確認している。」との説明があった。

また、座間市から「キャンプ座間における駐留部隊などの態様の変更は市民の理解を得るためにも重要なことと考えているため、引き続き、きめ細やかな情報の提供をお願いしたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「在日米陸軍の部隊編成等にかかる内容については、引き続き速やかに貴市に対して情報提供を行えるよう努めてまいりたい。」との発言があった。

(4) その他の事項について

① キャンプ座間内のスポーツ、レクリエーション施設の市民利用

座間市から「キャンプ座間内にあるスポーツ施設等を市民が利用できるようになれば、大変な市民のためになり、キャンプ座間とのつながりもでき地

元市民の理解が益々深まるのではないかと考えている。市民がキャンプ座間内のスポーツ、レクリエーション施設の利用ができるようお願いしたい。様々な課題があるかと思うが、現状はどうか。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「米軍施設内のスポーツ・レクリエーション施設は、主に米軍人の鍛錬のために高い頻度で使用されており、また、基本的に米軍人及びその家族が異なる環境下で心身をリフレッシュする場として利用されていることから、常時開放することは施設の性格上難しいと聞いている。」との発言があった。

さらに、座間市から「常時ではなく日時や施設を指定した場合はどうか。その際例えば市内団体のみの利用は可能か。」との発言があり、これに対して南関東防衛局から「座間市の意向を米軍にお伝えしたい。」との発言があった。

最後に、座間市から「今後ともスポーツ・レクリエーション施設の可能な限りの市民への開放を目指し、積極的な協議など御協力をお願いする。」との発言があった。

以 上